

# 興陽トピックス

令和8年7月3日発行  
発行元：岡山県立興陽  
高等学校総務課



## 令和八年度入学式

四月九日、新設のライフデザイン科一期生八〇名を含む計二〇〇名の入学が許可されました。真新しい制服に身を包んだ新入生たちは、緊張した面持ちながらも希望に満ちた表情で式に臨み、高校生活の第一歩を踏み出しました。

本格的な授業も始まり、当初は不安そうな様子も見られましたが、徐々に新しい友人関係も築き、活気ある学校生活を過ごしています。教職員一同、新入生の皆さんが三年間で大きく成長できるように、全力でサポートしていきます。



## 対面式・部活動紹介 新入生が高校生活への第一歩

四月十日、新入生と在校生の対面式を実施しました。式は二・三年生と新入生が向かい合う形で行われ、上級生が温かく新入生を迎え入れました。新入生は先輩たちの歓迎を受け、興陽高校の一員としての自覚を新たにしました。

続く四月十三日には、新入生を対象とした部活動紹介が行われました。当日は計二十一の部活動が参加し、各三分といふ限られた時間の中で、工夫を凝らしたパフォーマンスや活動内容を

の説明を行い、新入生に熱心にアピールしました。

運動部から文化部まで多彩な部活動が揃う興陽高校では、新入生が三年間、楽しく一生懸命に取り組める部活動を見つければ、充実した高校生活を送ることを期待しています。



## 生徒総会を開催 「校則×デザイン」など新年度方針を発表

四月二十三日、令和八年度生徒総会を開催しました。総会は生徒会長の挨拶で幕を開け、令和七年度の決算報告および令和八年度の予算案が承認されました。続いて各委員会の委員長が登壇し、今年度の活動目標と具体的な取り組み内容を発表しました。

本校は、生徒が主体的に学校運営に参画することで、より魅力的な学校づくりを目指しています。これを受けて、生徒会からは今年度の重点施策として「校則×デザイン」プロジェクトや「意見箱の改善」などが提案され、生徒主体で学校をより良くしていく方針が示されました。



## 新入生が一日研修 各クラスで絆を深める

新入生が五月七日、玉野スポーツセンター（玉野市）で一日研修を実施しました。午前中は校歌の歴史や意義について学習し、母校への理解を深めました。午後はクラス対抗で長縄跳び、二十人二十一脚、校歌披露の三種目を実施。各クラスが団結して競技に臨み、会場は熱気に包まれました。

入学から約一カ月が経過し、新しい環境にも慣れてきた新入生たち。今回の研修を通じて、クラスや学年全体の団結力をさらに高めることができたと感じました。こうした校外研修を通じて、生徒同士の絆を深め、充実した学校生活の基盤づくりを支援していきます。



## 農業科ECサイトに出店 生徒が栽培から販売まで一貫運営

農業科三年生は、「課題研究」の授業で両備ホールディングス株式会社とマルチプロモーションセンターが開発したECサイト「たまらんMALL」へ出店しました。生徒たちはサイト構築や農産物の撮影技術について専門家の指導を受け、「高校生が育てた、まっすぐなおいしさを」をコンセプトに、栽培から加工・販売・サイト管理まで一貫して手がけた商品の販売を開始しています。



## 農業科一年生ヒヨコのデビーク実習 畜産分野の実践学ぶ

農業科一年生は「農業と環境」の畜産分野実習として、飼育しているヒヨコのデビーク（くちばし先端の処理）を実施しました。同校の鶏舎は放し飼い方式のため、成鶏になった際の相互攻撃を防ぐための処置で、生徒たちは実践的な畜産管理技術を学びました。



## ヤンマーエスターのコンポスター導入 循環型農業の実証実験開始

ヤンマーエスター、ヤンマーアグリジャパン中四国支社の協力を得て、コンポスターを設置し、実証実験を開始しました。実習で発生する農場残渣を投入して堆肥化する取り組みで、環境負荷を考慮した循環型農業の実践を目指しています。これからの農業は栽培だけでなく、環境サイクルを考えた方法が不可欠だと考えています。



## シゲトアリーナ岡山で球技大会開催 生徒主体の運営で笑顔あふれる一日に

六月十六日、球技大会が開催されました。生徒たちが主体的に準備から当日の運営まで担い、円滑な進行を実現。会場には終始笑顔があふれ、クラス対抗で熱戦が繰り広げられました。

競技の結果、男子の部では「M2A」が、女子の部では「H2A」が総合優勝を果たしました。今回の球技大会を通じて、深まったクラスの絆は、今後開催される体育祭や文化祭でさらに発揮されることを期待されます。



## 家政科・ライフデザイン科で「お弁当の日」実施 食への関心と感謝の気持ち育む

毎月行われる家政科の伝統行事「お弁当の日」が始まりました。三年目となる今年度は、新設のライフデザイン科も初めて参加しました。生徒たちは朝早く起きて調理に取り組み、彩りや見た目にこだわったキャラ弁に挑戦する生徒も見られるなど、それぞれ工夫を凝らしたお弁当作りに励みました。一年生は「今の自分ができること」を考えながら挑戦し、自分で作ったお弁当を通して食への関心や感謝の気持ちを深める機会となりました。



## ライフデザイン科二年生 先輩から学びを継承 手縫いや調理に挑戦

新設学科であるライフデザイン科の一年生が、先輩たちから家庭学科の伝統と技術を学ぶ取り組みを進めています。被服デザイン科三年生による手縫い講座では、玉結びや並縫い、まつり縫いなど被服製作の基礎技術をペアで学習。一年生は先輩の丁寧な指導を受けながら真剣に取り組みました。また、家政科食物科学類型の三年生からは調理室の使い方、計量の仕方、包丁の扱い方など、調理実習に必要な技術を一通り指導され、短時間ながら、技術だけでなく想いもつながる温かな交流の場となりました。

